

2020 年度 高大連携入学生 追跡調査
高大連携型入試 I 期 2019 年度生
II 期 2020 年度生

群馬医療福祉大学・短期大学部 I R 室

2020 年度 高大連携入学生 追跡調査

群馬医療福祉大学 I R 室

1. 目的

高大連携型入学試験により入学した学生 1.2 年生を対象に他の入学者選抜により入学した学生との学生生活における満足度及び学習意欲を比較することを目的として実施。

2. 調査方法

＜学習状況に関する調査＞および＜学生満足度調査＞実施について示した調査手順により、Google フォームにて作成した調査票に回答。

3. 実施時期

2020 年 10 月 7 日～10 月 16 日

4. 調査対象

全キャンパス・高大連携型入試入学生 1 年生 76 名 2 年生 64 名 合計 140 名

回答 1 年生 68 名 2 年生 45 名 合計 113 名 回答率 80.7%

5. 調査結果

調査対象と回収率について

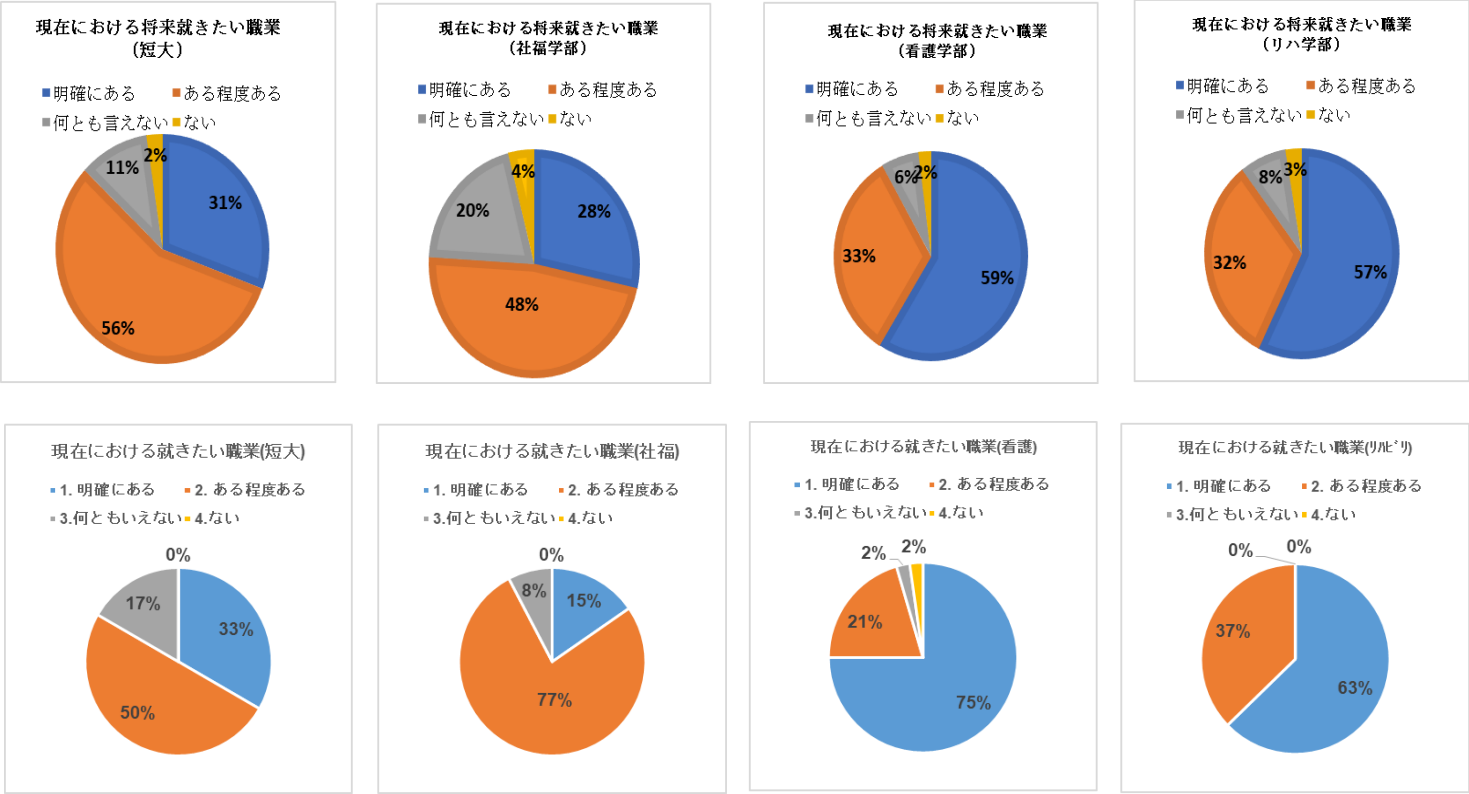
課題 1) 調査対象と回答率

回収数・回収率

所属	対象者 合計	1 年生	回収数	回収率	2 年生	回収数	回収率	回収率 合計
社会福祉学部	15	8	8	100%	7	4	57%	80%
看護学部	61	31	26	84%	30	18	60%	72%
リハビリテーション学部	52	28	28	100%	24	23	96%	98%
医療福祉学科	12	9	6	67%	3	0	0%	50%
合計	140	76	68	89%	64	45	70%	80%

上段 高大連携型入試以外の選抜方法を利用して入学した学生 以下 その他学生
下段 高大連携型入試を利用して入学した学生 以下 高大連携学生

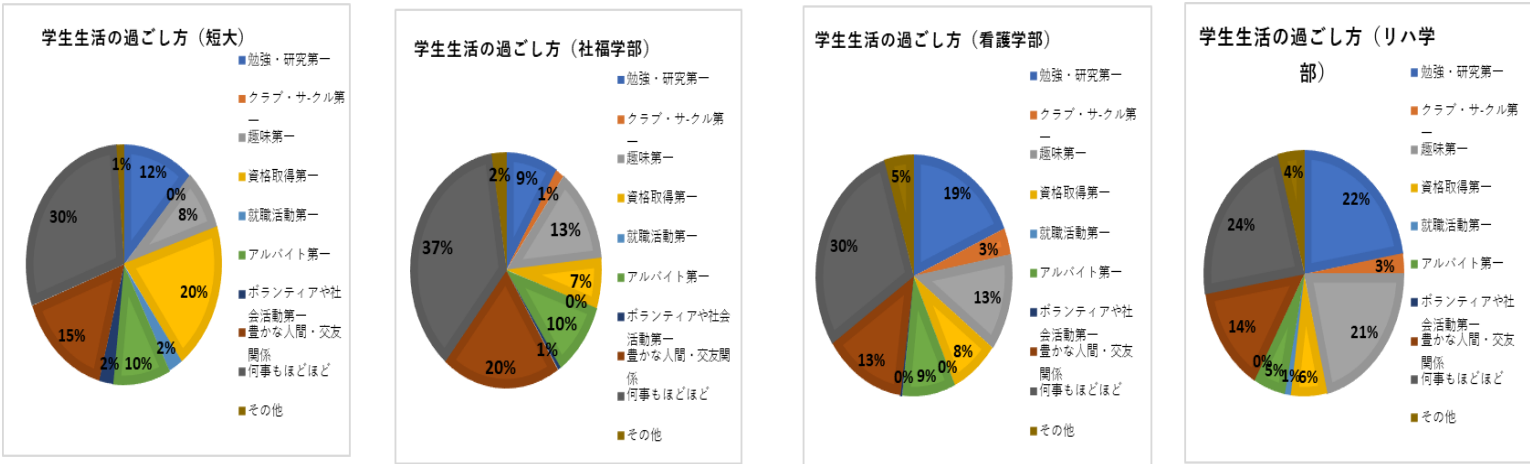
問1 現在、あなたは将来就きたいと思う職業や仕事をもっていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

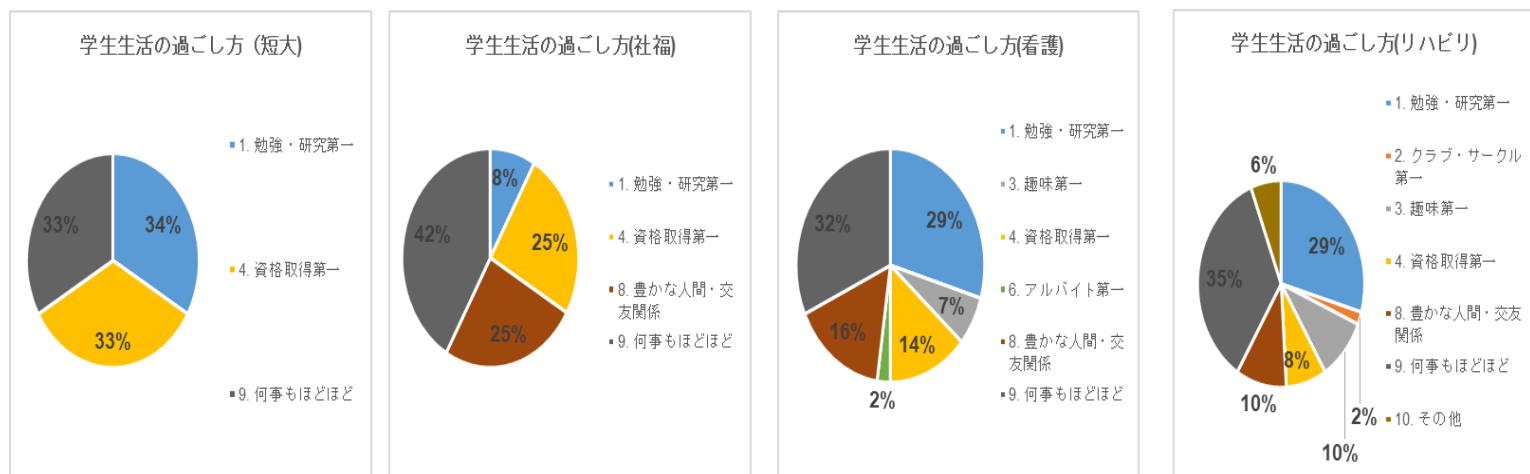


分析

【将来就きたい職業がある】の問い対して高大連携学生は「明確にある」「ある程度ある」と回答した学生が短大で83%、その他が学部では90%以上である。「何とも言えない」「ない」と回答した学生についてもその他学生と比較すると少数で、高大連携学生の方がより将来像の明確な学生が所属していることがうかがえる。しかし「明確にある」だけに限定すると、高大連携型で入学した学生のうち、社会福祉学部の学生のみ15%（その他学生は28%）と減少している。（調査対象人数も少ない）これは先日実施した「学生満足度調査」の就きたい職業について「何とも言えない」「ない」との回答が多数を占めたのと同じ傾向である。

問2 あなたの学生生活の過ごし方は、次のうちどれに近いですか。あてはまるものを1つ選んでください。

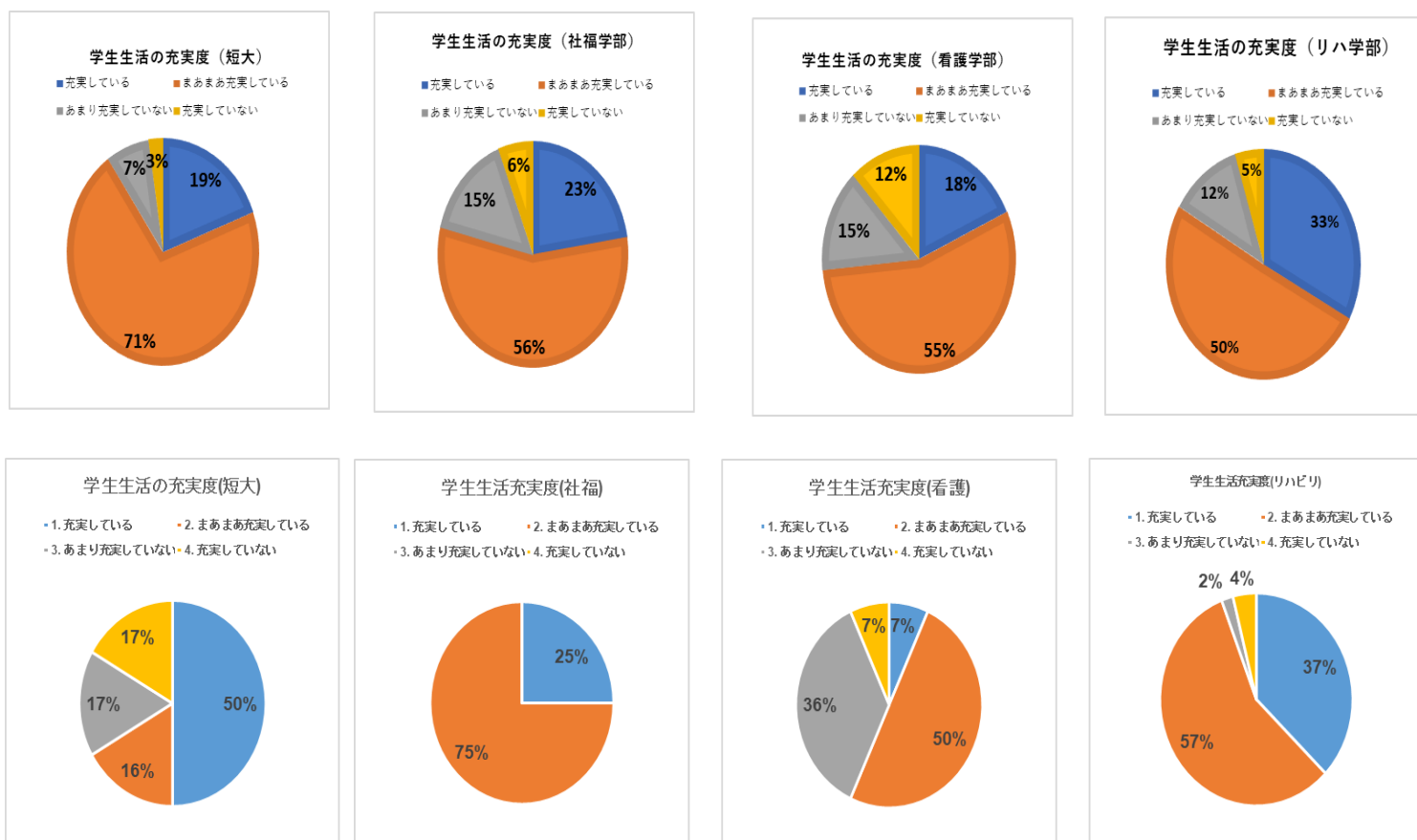




分析

高大連携学生では【勉強第一】と回答した学生が短期大学部、看護学部、リハビリテーション学部でその他学生を上回っており、【資格第一】と回答した学生に関しては全学部で上回っている。高大連携学生は勉学意欲や資格取得に向けてモチベーションが高く意欲のある学生であることがわかる。

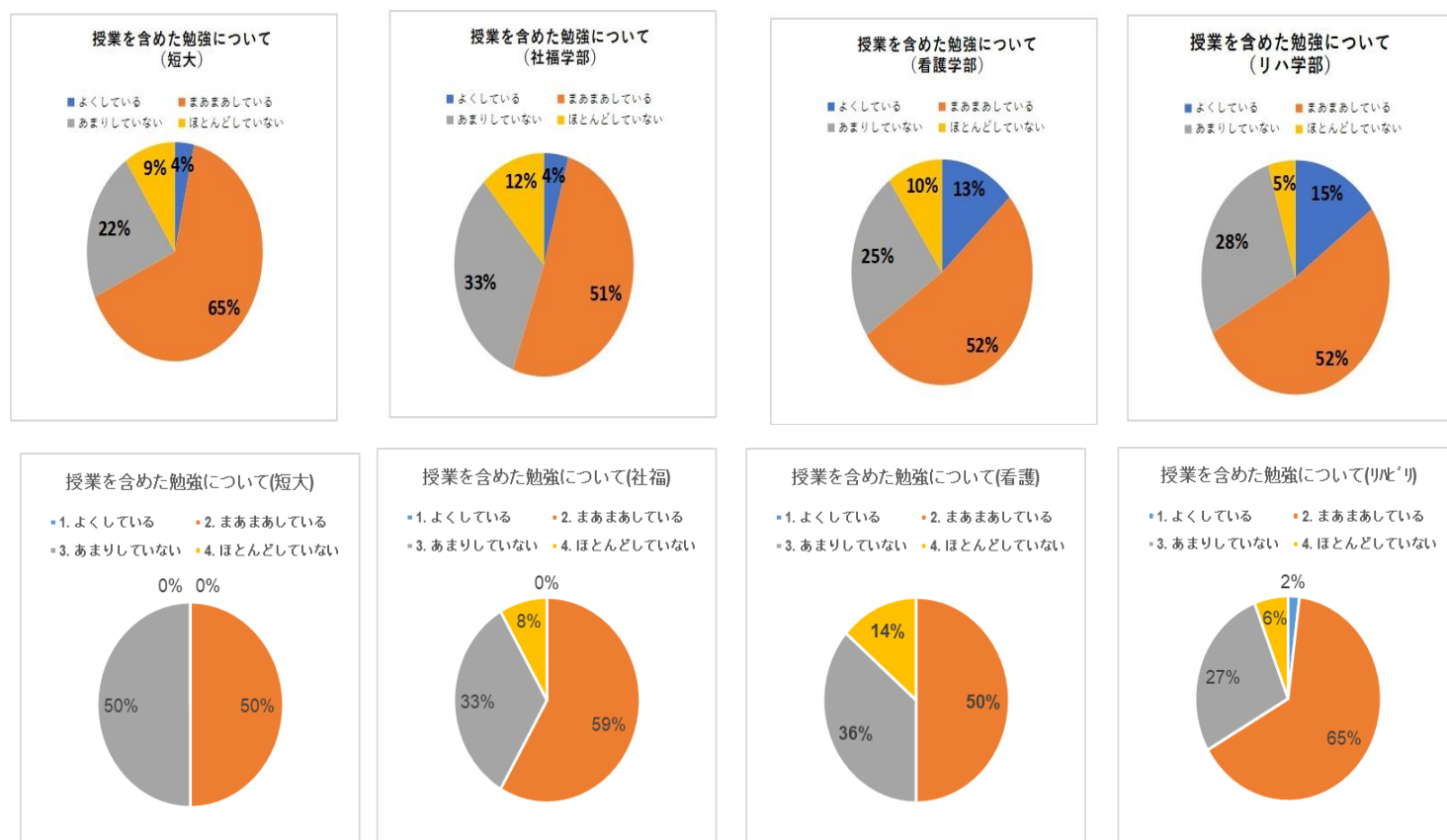
問3 あなたの学生生活は充実していますか。あてはまるものを1つ選んでください。



分析

【あなたの学生生活は充実していますか。】の問いに対して「充実している」「まあまあ充実している」を合わせるとその他学生では短期大学部が 90% 社会福祉学部が 79% 看護学部が 73% リハビリテーション学部が 83%となっている。高大連携学生は短期大学部が 56% 社会福祉学部が 100% 看護学部が 57% リハビリテーション学部が 94%である。「あまり充実していない」「充実していない」では短期大学部が 34%、看護学部は「43%」とその他学生と比較すると数値が高くなっている。高大連携学生の調査は 10 月に実施しており、コロナ禍の影響で前期講義の中心が遠隔授業であったこと、実技系科目の多い短期大学や看護学部では十分な講義ができなかったことが、数値が高くなった原因として考えられる。その他学生の調査はコロナ禍前の 2020 年 2 月に実施している。

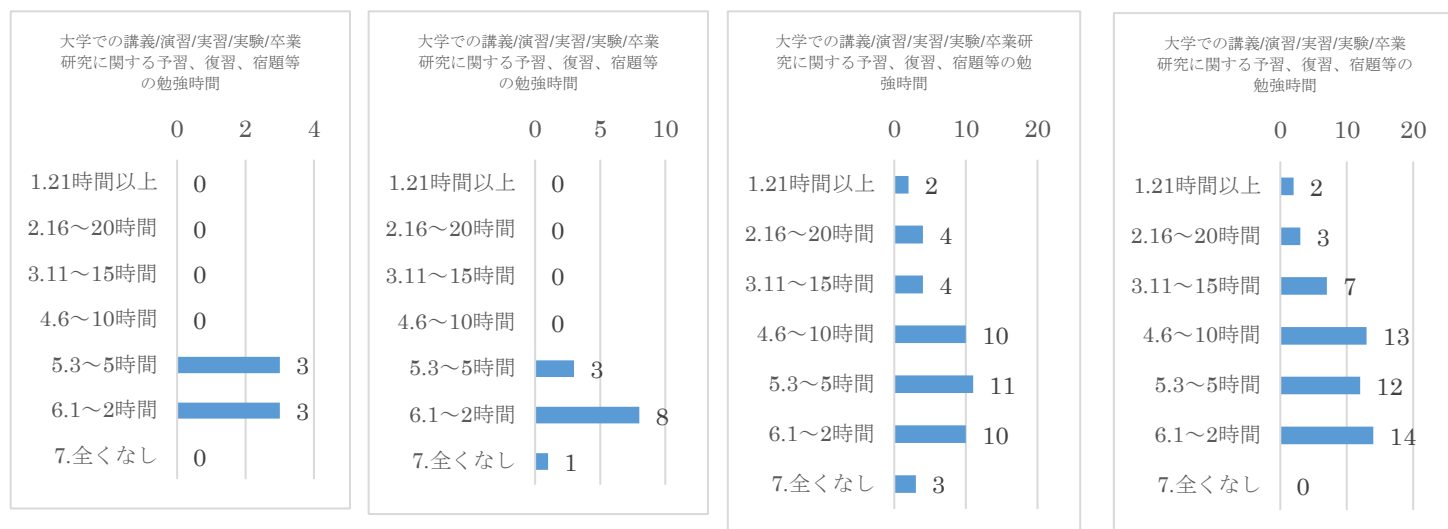
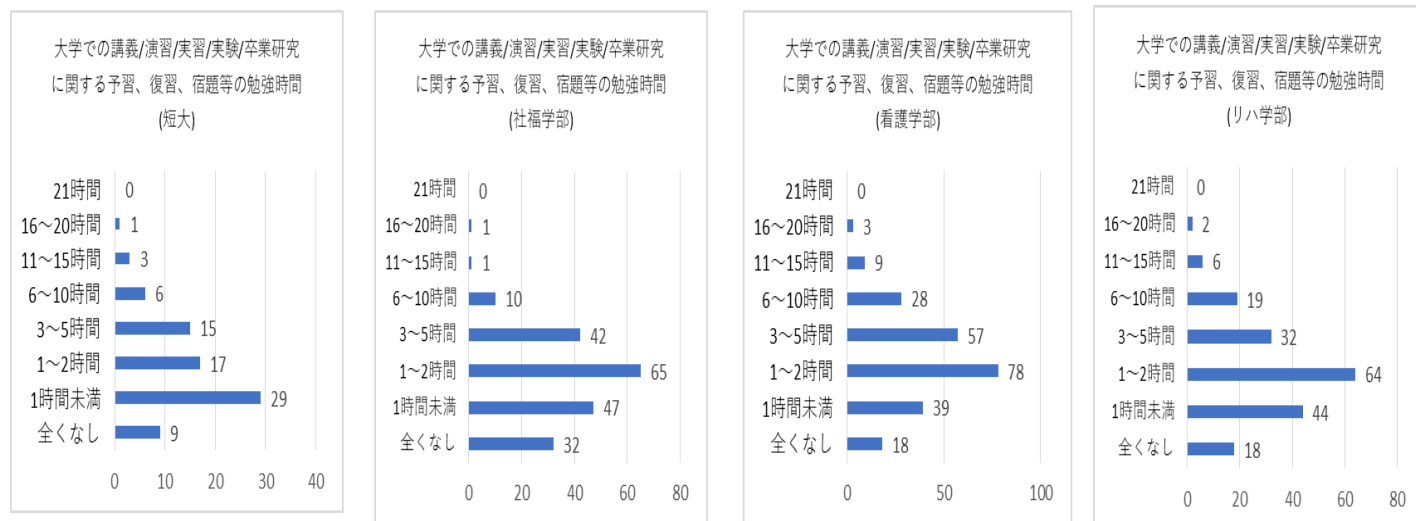
問 4．現在、あなたは授業を含めてどの程度勉強をしていますか。あてはまるものを 1 つ選んでください。



分析

高大連携学生の大学生としての勉強への取り組みは「よくしている」と回答する学生がリハビリテーション学部で 2%であったが、「まあまあしている」を合わせると社会福祉学部、リハビリテーション学部ではその他学生とほぼ同じような傾向にある。一方、短期大学部、看護学部では「あまりしていない」「ほとんどしていない」と回答した学生の割合が高くなっており、高大連携学生とその他学生の学力差が懸念される。

問5 大学での講義・演習・実験・卒業研究に関する1週あたりの予習、復習、宿題等の勉強時間について



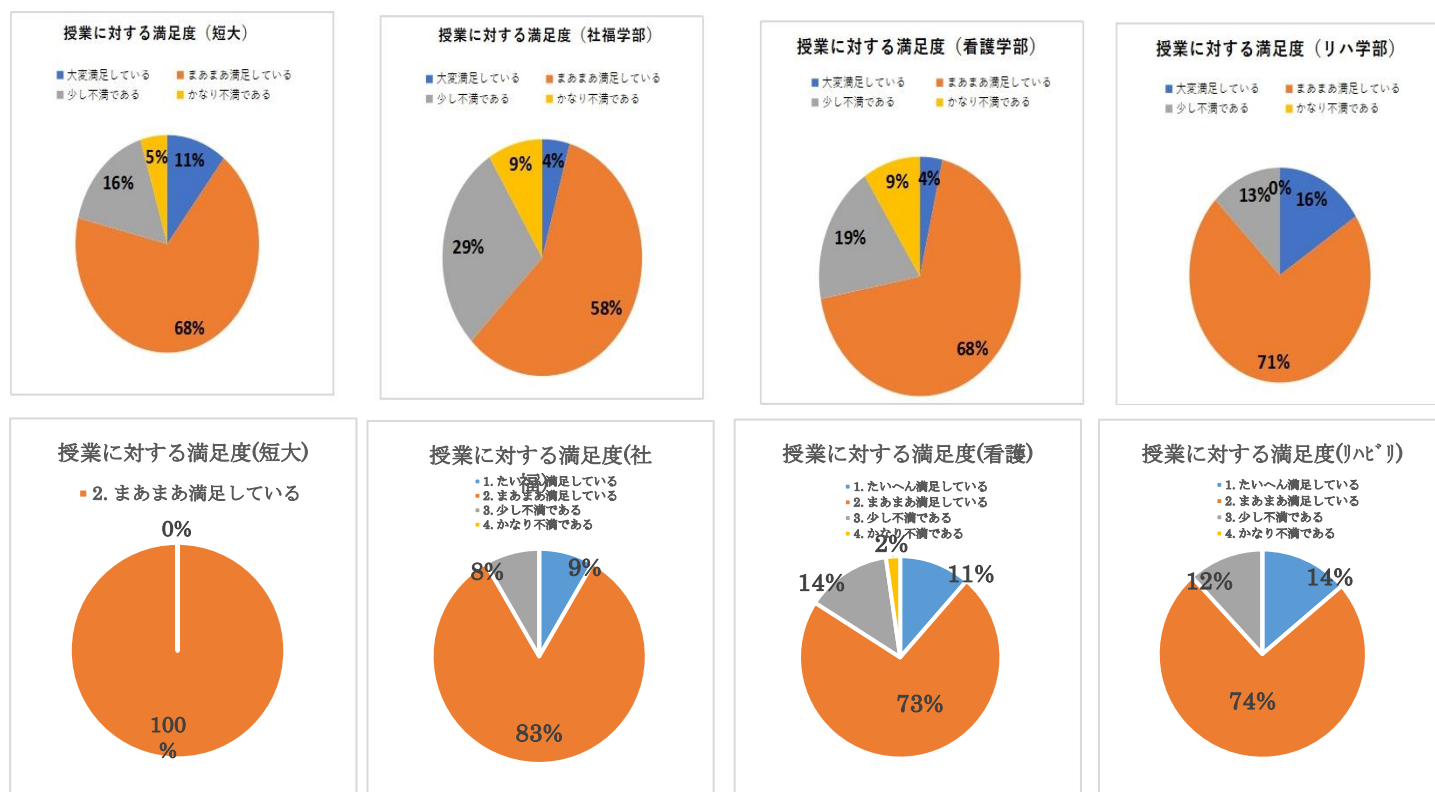
	短期大学部		社会福祉学部		看護学部		リハビリテーション学部	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
21時間以上	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
16～20時間	1	1%	1	1%	3	1%	2	1%
11～15時間	3	4%	1	1%	9	4%	6	3%
6～10時間	6	8%	10	5%	28	12%	19	10%
3～5時間	15	19%	42	21%	57	25%	32	17%
1～2時間	17	21%	65	33%	78	34%	64	35%
1時間未満	29	36%	47	24%	39	17%	44	24%
全くなし	9	11%	32	16%	18	8%	18	10%
合計	80	100%	198	100%	232	100%	185	100%

	短期大学部		社会福祉学部		看護学部		リハビリテーション学部	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
21時間以上	0	0%	0	0%	2	5%	2	4%
16～20時間	0	0%	0	0%	4	9%	3	6%
11～15時間	0	0%	0	0%	4	9%	7	14%
6～10時間	0	0%	0	0%	10	23%	13	25%
3～5時間	3	50%	3	25%	11	25%	12	24%
1～2時間	3	50%	8	67%	10	23%	14	27%
全くなし	0	0%	1	8%	3	7%	0	0%
合計	6	100%	12	100%	44	100%	51	100%

分析

【大学での講義・演習・実験・卒業研究に関する1週あたりの予習・復習・宿題等の勉強時間】について短期大学部、社会福祉学部は高大連携学生とその他学生とを比較しても同じ傾向にあり、あまり多くの予習・復習時間を要していないことがわかる。医療系学部についてはその他学生よりも高大連携学生の方が予習・復習にかけている学習時間は長いことが分かった。ただしその他学生のアンケートは1年生から4年生までを対象としているため、学年によって大きな差異が生じることが考えられる。再度、学年別の分析が必要である。

問7 あなたは受講している授業に、全体としてどの程度満足していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

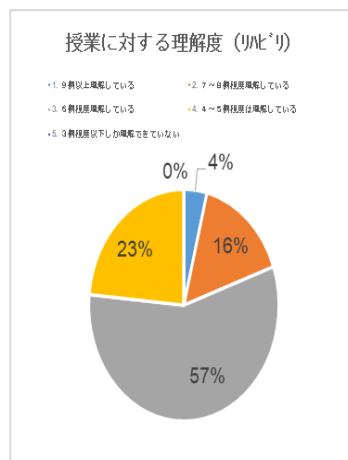
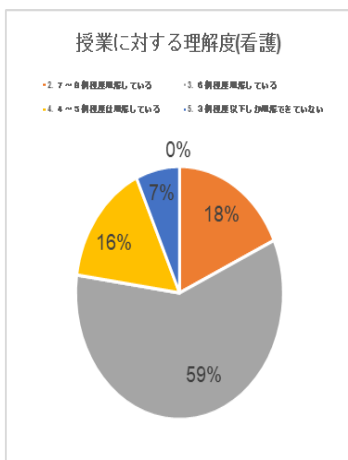
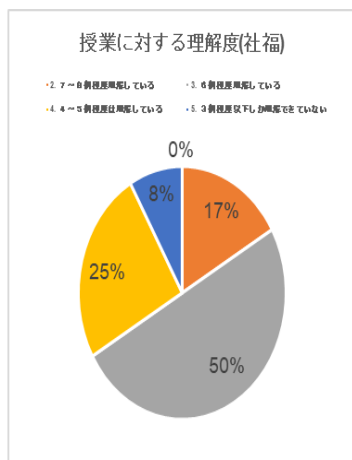
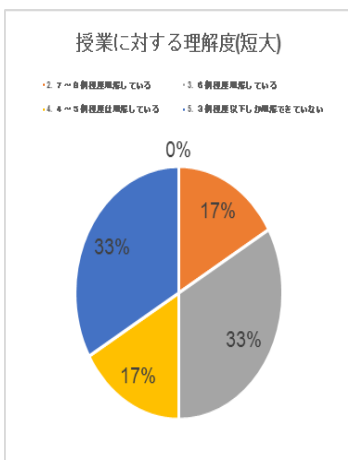
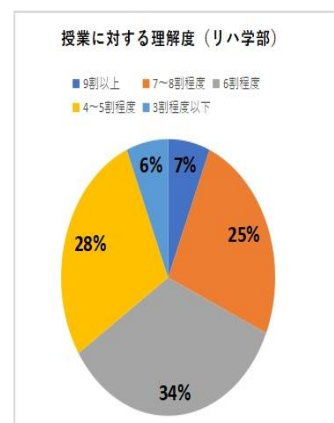
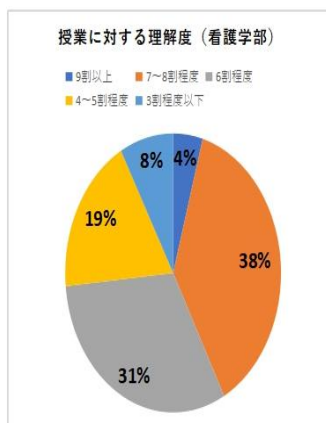
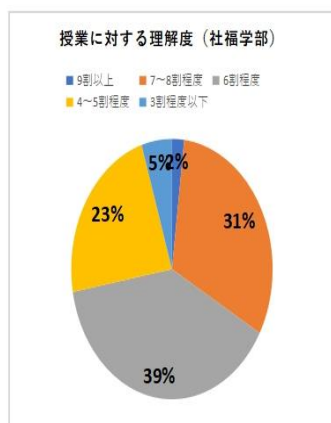
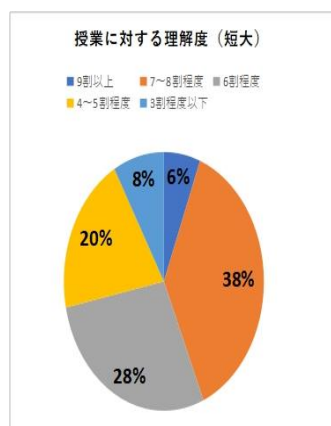


その他学生の調査では【大変満足している】【まあまあ満足している】を合わせるとすべての学部において 60% 超えている。一方、高大連携学生はその値を大きく上回り、短期大学部 100%、社会福祉学部 92%、看護学部 84%、リハビリテーション学部 88%となっている。授業に関して【かなり不満がある】と回答した学生は看護学部でわずか2%であり、他の学部では【かなり不満がある】と回答したものはいなかった。

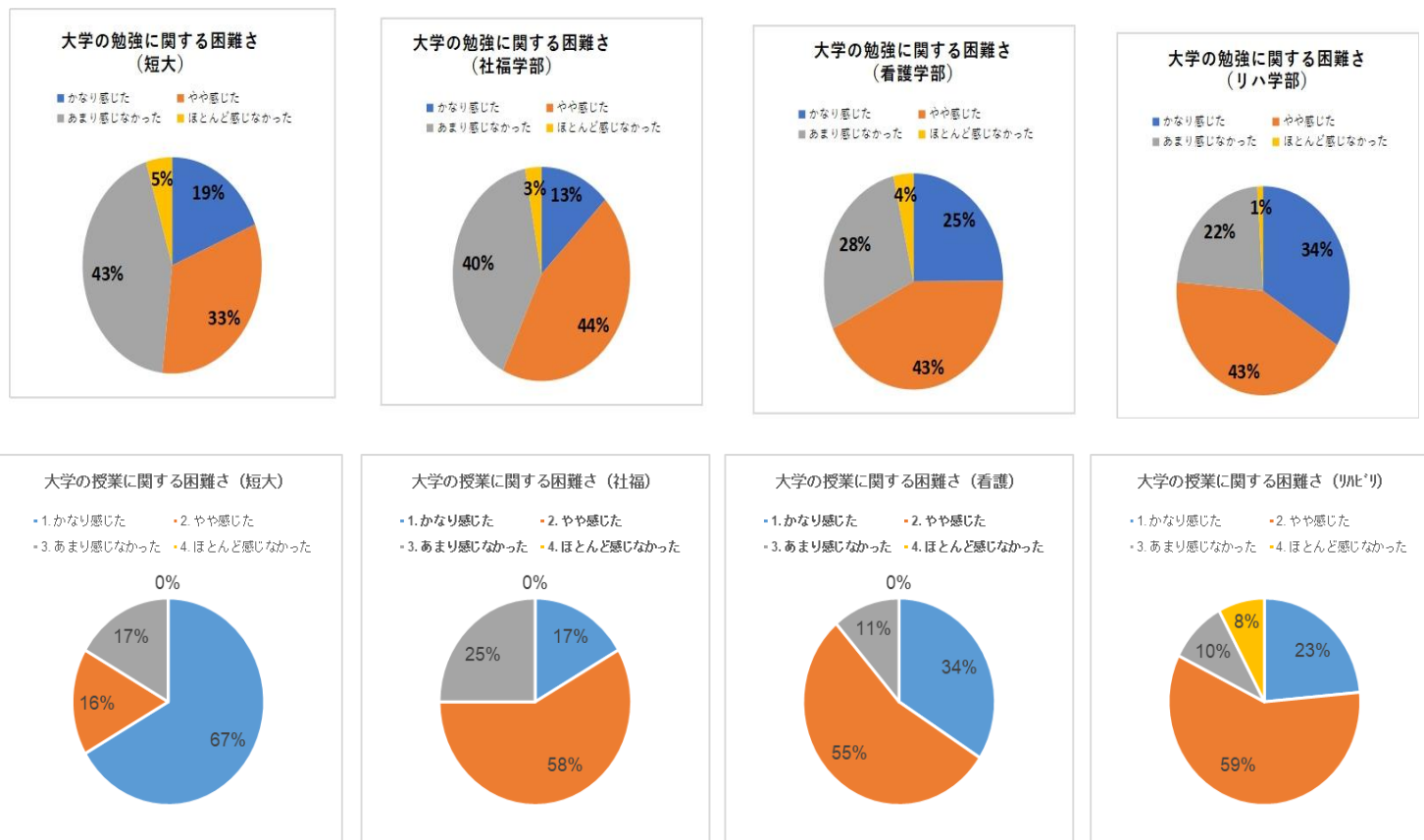
その他学生の満足度調査において、「社会福祉学部では【かなり不満がある】【少し不満がある】があるが38%と他学部と比較すると少し高い割合となっている。」と分析したが、高大連携学生の調査では【少し不満がある】と回答した学生は8%に留まり（かなり不満があると回答した学生はいなかった）、他の学部より授業に関する満足度は高い傾向にある。これは社会福祉学部のカリキュラムが1・2年生を中心に幅広く知識を得るリベラルアーツ系科目が多数設定されていることから、学修者自身の興味・関心のある科目を中心に主体的に学ぶことができること、高大連携授業で学んだ「医療福祉教育の基礎」が初年次教育の一環として、1、2年生で展開される福祉系専門科目にソフトランディングできるような仕組みとなっていることが考えられる。

※ただしその他学生のアンケート調査は1年生から4年生までを含んだものであり、1、2年生のみを抽出して分析をする必要がある。

問8 あなたは授業内容を、全体としてどの程度理解していますか。あてはまるものを1つ選んでください。



問 9 あなたは大学の勉強において、困難を感じたことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。



分析

【あなたは授業内容を、全体としてどの程度理解していますか】の問いに対して**高大連携学生はその他学生と比較すると大幅に低い回答となった。**7割程度以上の内容を理解しているがその他学生は短期大学部で44%、社会福祉学部で32%。看護学部で44%、リハビリテーション学部32%となっており、**高大連携学生は短期大学部で17%、社会福祉学部で17%。看護学部で18%、リハビリテーション学部20%となっている。**

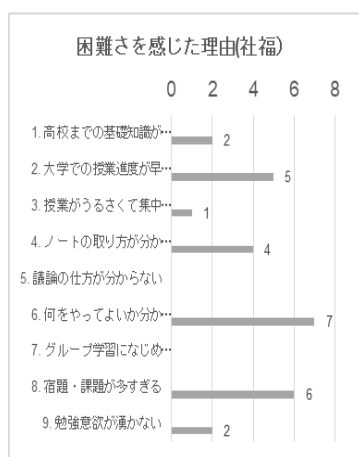
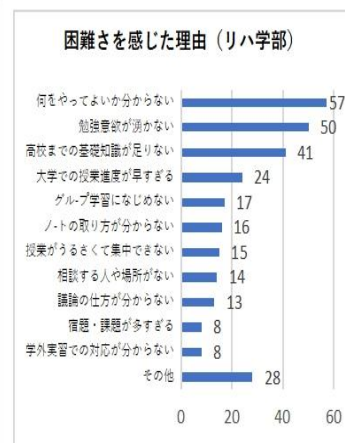
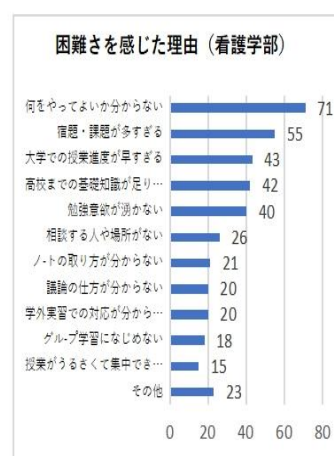
さらに、高大連携学生は【あなたは大学の勉強において、困難を感じたことがありますか】の問いでは**全学部においてその他学生と比較して「困難をかなり感じた」、「やや感じた」と回答している割合が大幅に増えている。高大連携学生においては授業の理解度、学習への困難さに苦しんでいる学生が多数存在している。**

※3期生(2021年度)については入学者選抜に基礎学力試験を実施したことから、今後の動向を見ていきたい。

2年生 GPA 比較

2年生	短期大学部	社会福祉学部	看護学部	リハビリテーション学部
その他学生 平均	2.26	2.28	2.35	2.41
高大連携学生 平均	1.99	2.33	2.28	2.33

問 10 その困難さとはどのようなものでしたか。あてはまるものすべてを選んでください。

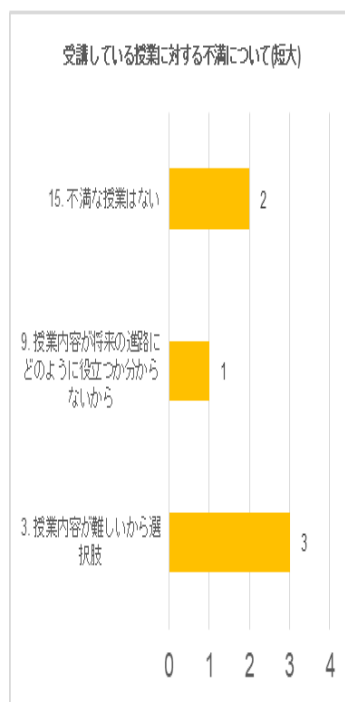


分析

高大連携学生、その他学生ともに【あなたは大学の勉強において、困難を感じたことがありますか】との質問に対し、「何をやってよいかわからない」と回答する学生の割合がどの学部でも上位を占める回答となった。

※高大連携入学生の数値がその他学生よりも少ないので一概には比較できない

問 11 あなたが現在受講している授業で不満がある場合、その理由は何ですか。

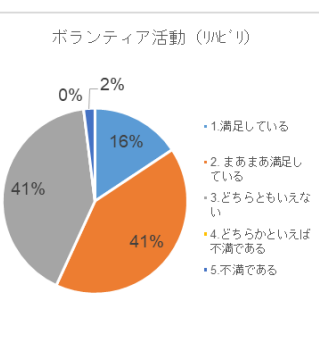
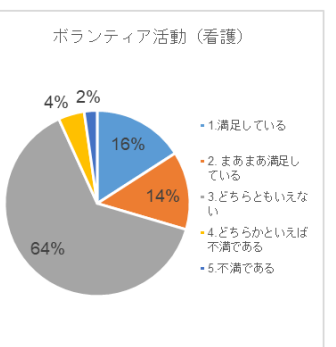
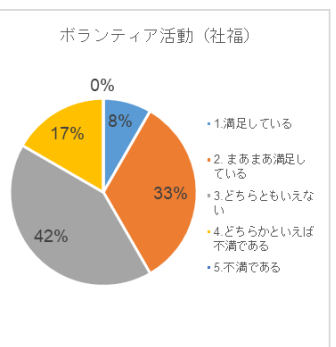
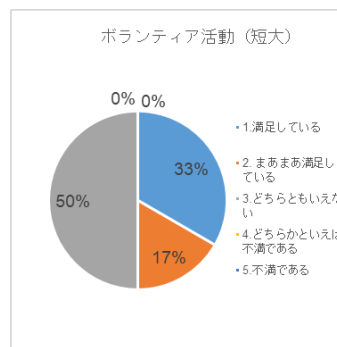
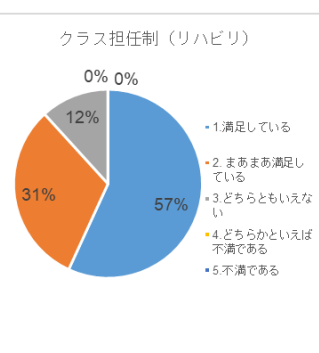
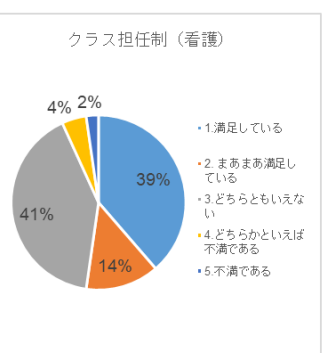
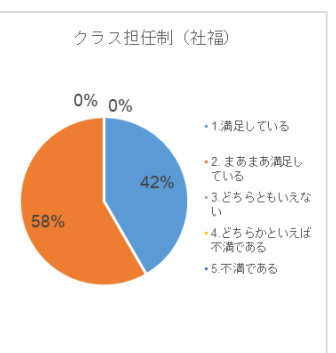
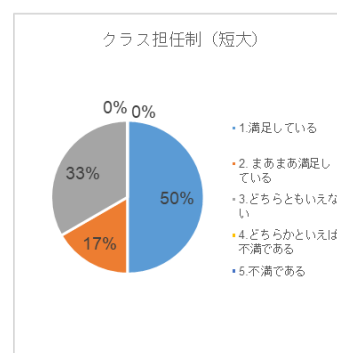
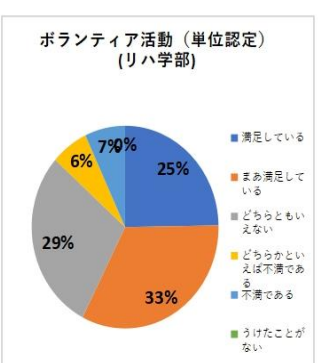
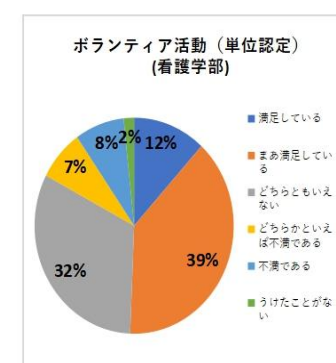
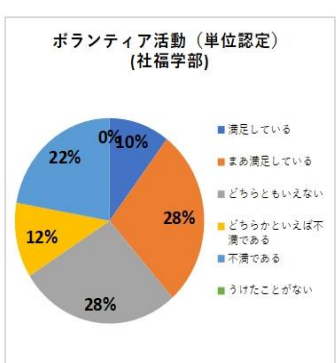
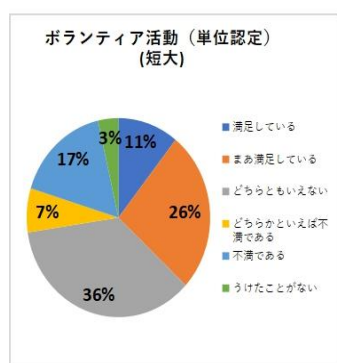
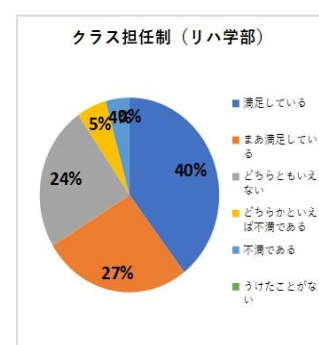
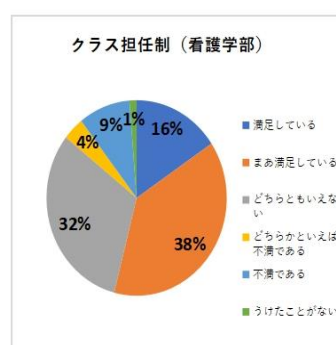
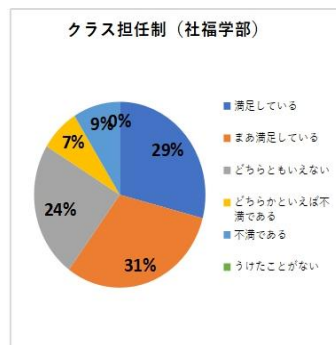
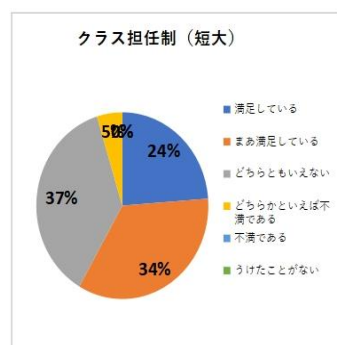


分析

高大連携学生の回答では「不満な授業はない」と回答する学生が上位を占めている。その他学生と比較すると授業への満足度は高い傾向にある。ただし「授業内容が難しい」についてはその他学生同様に多数の者が回答している。授業内容とその難易度については学生の能力に合わせた授業の展開方法の工夫など教員の教育能力の向上のため、組織体制の構築（FDの推進体制、ピアサポート ピアレビューなど）が今後さらに求められる。

※高大連携入学生の数値がその他学生よりも少ないので一概には比較できない

問 12、13 クラス担任制、ボランティア活動について



分析

【クラス担任制】については、「満足している」「まあ満足している」と学生が回答している学生が社会福祉学部、リハビリテーション学部では高大連携学生の方がその他学生よりも満足が高く、短期大学部、看護学部ではほぼ同じ数値であった。「どちらかといえば不満である」「不満である」と回答した学生はその他学生では短期大学部 5%、社会福祉学部 16% 看護学部 13% リハビリテーション学部 9%であったが、高大連携学生は看護学部で 6%に留まり、その他学部では「どちらかといえば不満である」「不満である」と回答した学生いなかった。

【ボランティア活動】について「不満」「どちらかといえば不満」と回答した学生について高大連携学生の方が一般学生と比較して低い傾向にあり、短期大学部、社会福祉学部では満足度が高い傾向にあった。看護学部では高大連携学生の満足度が低い結果となった。しかしどの学部も「どちらともいえない」との回答が増えており、コロナ渦において活動ができていない状況を考えると当然の結果であると考えられる。

	短期大学部		社会福祉学部		看護学部		リハビリ学部	
ボランティア	満足	不満	満足	不満	満足	不満	満足	不満
	まあまあ満足	どちらかといえば 不満	まあまあ満足	どちらかといえば 不満	まあまあ満足	どちらかといえば 不満	まあまあ満足	どちらかといえば 不満
その他学生	37%	24%	28%	34%	51%	15%	58%	13%
高大連携学生	50%	0%	41%	17%	30%	6%	57%	2%